

P T A 総会 学校長あいさつ

令和6年度から、小方学園の校長から、大竹小学校の校長として着任しました。真鍋 和聡まなべ かずあきです。よろしくお願いいたします。

この機会に、3点ほど、お話をさせていただきます。

1点目は、本年度の学校教育目標です。

昨年度のものを継承し、発展させていきます。「みんなで伸びる ～トライ&サポート～」です。

まずは、トライ、「挑戦」です。子供たちに適度な負荷をかけて、子供たちに挑戦させ、やり切らせて成長を実感させる、そして次の挑戦への意欲を高める取組を日常の授業や、運動会などの学校行事など、教育活動全体を通して行ってまいります。負荷なくして成長なしです。

さらに、その挑戦に対して、子供たちどうしで教え合ったり、助け合ったり、競争し合ったりすることを仕組み、「みんなで伸びる」という学校教育目標の達成に向けて取り組んでまいります。学校教育目標について、教職員も子供たちも、保護者の皆さんも共有したいと思います。

2点目です。学校と家庭との連携についてです。

改めまして、参観、懇談、ありがとうございました。是非とも、我が子のみならず、学級の子供たち全員のこと、学校の子供たち全員のことをよろしくお願いいたします。朝、正門の前に立っていると、特に今、1年生の保護者の方がお子さんと一緒に学校に来てくださっていることが多いのですが、中には、入学式でも、私が「相手より先にあいさつする」という話をしたからでしょうか、保護者の方がお子さんに「あいさつは？あいさつ。」と促してくださったり、途中で転んでけがをした知らない子のランドセルを持って、一緒に来てくださったり、非常にありがたく思っています。

まずは、家庭教育があつて、学校教育もあります。両者は、お互いに影響し合っています。ですから、お互いに連携しながら子供たちを育てていかなければなりません。

1つ、ご理解いただきたいことがあります。子供どうしのトラブルというのが日常的に起こります。未熟な人間が集団生活している学校です。起こらない方がおかしいです。子供たちは、考える力、判断する力、思ったことを表現する力や我慢強さ、協調性などあらゆることが未熟です。子供によっても違います。

大人になっても人間関係のトラブルはあります。特に義務教育の学校は、まず人間関係のトラブルを解決していく練習の場、教育の場である、ということのご理解です。特に学校で起こったことは、本人、相手、周りにも聴き取って、事実確認をして、指導して、振り返りと今後の生活の展望を考えさせます。学校の外で起こったトラブルは、家庭教育が主体となりますが、知った限りは、そして学校生活にも当然に影響もありますので、学校としてできる指導をします。

ただ、家庭教育の補強的な指導になります。

いろいろと申し上げましたが、どうぞ学校教育にご理解をいただき、一緒に子供たちを育てていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

3点目は、運動会についてです。先週の水曜日に、お手紙をお配りしました。コロナが5類になって、昨年度、大竹小学校は運動会の開催を、午後からも行い、延期の日を1週間後にしていました。ただ、コロナの間に、教育活動がいろいろと制限されることもあり、それを機会に行事の目的や在り方なども可再確認されていました。子供たちに学習させる内容も増加し、行事を精選したりスリム化したりするなど、見直しをすることが、まず必要ということです。仮に、予備日が平日になっても、できるだけたくさんの保護者の皆様にご来校いただきたいため、早めにお知らせしました。6月1日(土)半日開催、延期になれば翌週の火曜日と水曜日を予備日としています。半日でも、子供たちの力をしっかり発揮させて一生懸命な姿に心を動かされる運動会にしたいと思えます。ご理解をよろしくお願いいたします。

同様に、PTAの活動の方も、持続可能な形に精選したりスリム化したりするなど、見直しを行っていただいています。

働かされている保護者の方も多くなっているなど、これも世の中の変化に合わせて適応し、持続可能な形でお願いできたらと思っています。

では、1年間、よろしくお願いいたします。